

令和7年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

○活動報告書は、HP で公表しますので、公開可能な内容としてください。
○データのサイズは、写真を含め、8M以内に収め、ワード文書にて提出してください。
○こちらの報告書フォームに沿って全て記入してください。

令和 8 年 4 月 30 日

団体所在地 広島市東区牛田東 4-13-1
団体の名称 学校法人 YIC 学院
職・氏名 理事長 井本 浩二
(施設名広島女学院ゲーンズ幼稚園)

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・春の森散策 (園児対象)
- ・春の森散策 (園庭開放参加親子対象)
- ・リスクマネジメント講習 (園児対象)
- ・リスクマネジメント講習 (教職員対象)
- ・クラフトコーナー (コマ実演鑑賞)
- ・クラフトコーナー (コマ作り)

【7月～9月】(夏季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・昆虫採集
- ・ハチラップづくり
- ・クラフトコーナー (竹とんぼ作り)
- ・クラフトコーナー (竹のスコップ作り)
- ・クラフトコーナー (竹のバケツづくり)

【10月～12月】(秋季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・秋から冬へ移り変わる森散策
- ・森の秘密基地づくり
- ・どんぐり拾い
- ・落ち葉集め
- ・クラフトコーナー (押し葉のスパタ制作)
- ・クラフトコーナー (かりんのコマづくり)

【1月～3月】(冬季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・森の大冒険 (園児対象)
- ・森の大冒険 (園庭開放参加親子対象)
- ・クラフトコーナー (どんぐりのやじろべえ)

活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

【4月～6月】

(写真)



(エピソード記述)

園内の農園でサツマイモの苗植えの準備を行っています。子どもたちと草抜きや耕す作業を行い、苗植えから収穫までの行程一つひとつの意味を受け取る貴重な経験です。自然保育アドバイザーの菊間さんの指導の下肥料の一つとして草木灰を作る為、草抜きをした雑草で焚火をします。その工程の一つとして、畑を埋め尽くす雑草を子どもたち、保育者、有志保護者で協力し合って草抜きをしました。芋の苗植えから、日々の観察お世話、芋掘りまで命に繋がる活動を通してより豊かな食育活動の一つとなっています。

【7月～9月】

(写真)



(エピソード記述)

「クラフト体験」

つくり出す、繰り返し遊ぶ体験の場。コマ名人より、コマ回しの実演などを目の前で見ていただいたり、ぼうけんの森で見つけたどんぐりでコマづくりをしたり、やじろべえを作ったり、園庭で収穫したかりんの実をスライスして作ったコマ回しや、コマづくりを一緒に楽しみ、自然からいただく恵みを遊びの中に取り入れより豊かな活動学びの場となっている。

【10月～12月】

(写真)



(エピソード記述)

「クラフト体験」

藍染体験は、染物の講師をお呼びし、サポーター活動の保護者の皆さんの協力を得ながら行っています。藍蓼の種まき、間引き、移植、収穫、乾燥。全ての行程に子どもたちが関わり、染物活動に取り組んでいます。染物当日は、染め液の煮だしを見学し、自分たちで豆絞りをした布を染めます。空気に触れることで美しく染まる布の不思議を目の前で感じ、行程の最後の洗い出し迄子ども自らが行う作品作りは特別な体験となり、持ち帰った布は、バンダナや弁当包みなど丁寧に大切に扱われています。

【1月～3月】

(写真)



(エピソード記述)

「リスクマネジメント」

自然保育アドバイザー菊間馨さんの豊かな視点から、子どもも大人も多くの発見や充実した活動の機会を与えられています。幼稚園に隣接する大学構内の敷地を「ぼうけんの森」とネーミングして自然の表情、四季の移り変わりなどを身近に経験する活動を大切に過ごしています。

森の中での過ごし方で、まず初めに子どもたちに伝えるリスクマネジメントの課題として、斜面での転び方を学ぶようにしている。

前のめりに転ぶのではなく、しりもちをつくようにして転ぶことで大きなけがを免れることを実演を通して学び、子ども同士森の中でも互いに声を掛け合って過ごす姿が見られる。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について

（例）こども環境管理士を担当保育士が取得（12月）

- 園を取り巻く環境を職員間で共通把握研修（月に1回）
- 森の地図作り（年1回）
- 森の散策リード担当（学期に1回）

- ・ 地域との関わりについて

（例）専門知識のある地域の方に園庭のぶどうの木の選定や野菜づくりを月一回交流（毎月）

- 藍染体験に向けた、藍の種まき、収穫、染物活動サポート（4～9月）

- ・ 保護者との関わりについて

（例）果物や野菜を保護者と一緒に収穫（毎月）

- 食育活動の為に畑づくり（通年）

- ・ その他

＊より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページやSNSのURLをご記入ください。

U R L	https://gainesyo.jp/
-------	---